

みんなでぬりかえ、未来へつなぐ安心の橋～プロジェクト1184～ 開催報告

日時：令和6年11月19日(火) 9:30～12:00 場所：岐阜県加茂郡七宗町内
参加者：上麻生小学校の5,6年生19名、七宗町役場、丸ス産業(株) (技術指導)、中部F事務局

■ 開催の経緯

- インフラを維持管理していくための予算や人の確保が厳しい環境にある中、地域住民を交えたメンテナンスの仕組みづくりをしていきたいという町の想いを形にしたい

■ 開催目標

- 子供たちに、橋梁の塗装塗替え作業を通じて土木について学んでほしい
- これを機に、生徒の親や地元の方々がインフラに興味を持ってほしい
- さらに、自分たちの手で補修することで、地元のインフラに愛着を持ってほしい



■ 座学 (9:30～10:30)

- 手始めクイズ (七宗町の橋の現状)
- 土木ってなに？
- 七宗町のいま (クイズの答え合わせ)
- 橋のなおし方 (定期的な維持管理の重要性)
 - ・生徒のほか、担任の先生や校長先生、教育長も抜き打ちでクイズにチャレンジ！
 - ・全問不正解の大人も・・・
 - ・あたりまえの生活をするには、インフラの維持管理がとても重要



■ 塗装塗替(10:30～12:00)

- 小学校にほど近い飯高橋へ移動
- 塗装色は子供たちで選定 (七宗町のシンボルカラー)
- 施工業者さんが上手なペンキの塗り方を伝授
- 1スパン/人の役割分担
- 上級生だけあって、大人顔負けの塗装技術
 - ・4人1班のチーム戦だったが、保護具を着用すると誰が誰だか・・・
 - ・町長をはじめ、近隣の住民や新聞社が訪れた
 - ・優勝チームには、後日表彰状が授与された

